



理振協会会報

編集：(公社)日本理科教育振興協会 広報委員会
制作：株式会社 太洋堂



公益社団法人 日本理科教育振興協会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28
TEL: 03-3294-0715 FAX: 03-3294-0716
URL: <https://www.japse.or.jp>

CONTENTS

■ 第54回定時総会のご報告

- 会長挨拶 (p1) ■ あべ文部科学大臣祝辞 (p2)
- 第54回定時総会 議事録 (p3)
- 永年勤続表彰 (p3) ■ 令和7年度 事業計画 (p4)
- 講演【「科学」は誰のもの? ～定時制科学部の挑戦～】(p6)
- 情報交換会のひとこま (p6) ■ 来賓のご挨拶 (p7)

■ 祝 全国理科学研究大会

- (一社)日本理科教育学会会長挨拶 (p8)
- 日本理化学教会会長挨拶 (p8)
- 全国中学校理科教育研究会会長挨拶 (p9)
- 全国小学校理科研究協議会会長挨拶 (p9)

■ 令和7年度理科教育設備整備費等補助金進捗状況 (p10)

- 令和7年度復興教育支援事業計画 (p10)
- 令和7年度理科教育設備整備費等補助事業・台帳作成説明会 実施報告 (p11)
- 安心安全ドキュメント (p11)
- 理科観察実験指導力向上セミナー実施 (p11)



第54回 定時総会を迎えて

本日はご多忙のところ文部科学省はじめ多数のご来賓にご出席賜り感謝申し上げます。

最初に皆様へご報告です。先日開催された理化学協会設立100周年、並びに理科教育振興法制定70周年、この記念の会の双方において過分にも私どもの協会が表彰されました。偉大なる教育者の嘉納治五郎先生を初代会長として設立された理化学協会、大正15年は日本の製造業が力をつけた頃で、その礎に日本の科学教育の開始があったのではないのでしょうか。そして昭和28年には、理化学協会が先頭になり理科教育振興法が成立しました。戦争で荒廃し廃墟となった日本ですが、この法律施行に伴う補助金で可能となった理科教育は、日本の産業の復活と大躍進の糧となりました。

いただいた感謝状はこれからの80年、90年、100年に向けて「理科教育振興協会頑張れ!」との激励であると気を引き締めているところです。

既に江戸時代には寺子屋と呼ばれる庶民が通う教育機関が全国に存在していました。その成果により識字率は当時としては世界の中でとても高い水準にあったとされています。そして明治5年に日本の近代教育の方針が発令され、義務教育機関として小学校が誕生しましたが、僅か20年の間に現在より多い数の学



公益社団法人
日本理科教育振興協会
会長 大久保 昇



校が誕生したのです。国はお金がなく、建設は地域の方の寄附に頼りました。当時のお金で相当な額になるものを出し、町の将来を背負う子供たちのために学校をつくった歴史が全国各地の津々浦々に残っています。これほどの規模と速度で学校が整備されたことは、世界でも日本だけだったのではないのでしょうか。

数年前から日本も経済的成長を再開しましたが、世界状況は大きく混乱しています。生成AIの出現により、人間は何を学ばばいいのか、という問いが浮上しています。しかしこのようなときだからこそ、生身の人間の体験から生じるワクワク、ドキドキの好奇心が世界を変えていく原動力になるのではないのでしょうか。少子化が進む本当に大変な時代になりますが、後世にどのような投資を残すか、すなわち教育の投資をどうできるかです。実験観察を重視した理科教育、科学教育が本当に必要なのです。

今日は情報交換会まで含めまして5時間強のお時間をいただきますが、貴重な情報共有の時間使えるような総会にしたいと考えます。どうかよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人日本理科教育振興協会 第54 回定時総会文部科学大臣祝辞



代読
文部科学省 初等中等教育局
視学官

藤枝 秀樹

本日、公益社団法人日本理科教育振興協会第54回定時総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

はじめに、御参集の皆様におかれては、日頃から子供たちや教師が観察、実験で活用する優れた理科教材を開発し、理科教育の充実・発展に多大な御尽力をいただいていることに、心から感謝申し上げます。

さて、生成AIなどの新しい技術が次々と実装されるなど、将来の予測が困難な時代においては、急激な変化や様々な課題を乗り越えるため、新しい時代の教育を実現していかなければなりません。

こうした中、学校現場では、GIGAスクール構想によって整備が進んだ一人一台端末を学習の基盤としながら、子供たちの科学技術への興味・関心を高めるため、創意工夫を凝らした教育活動が展開されています。

理数系人材の育成は我が国における喫緊の課題であり、理科教育を一層充実させ、子供たちが観察、実験を通じて自然の事物・現象に直接触れながら、科学的に探求する力を育成することは、この国未来の担い手を育むことに繋がっていくものと考えます。

文部科学省としては、理科教育を発展・充実させていくため、必要な設備整備を支援するとともに、理科好きな児童生徒を育む取組の推進や、デジタル等成長分野を支える人材育成など、子供たちの資質・能力を育むための施策を進めてまいります。

また、これからの時代にふさわしい学習指導要領の在り方について、文理横断・文理融合の観点からの改善を含め、より質の高い、深い学びを実現できるよう、中央教育審議会の議論を踏まえながら検討を進めております。結論はまだ先となりますが、新たな教育課程の趣旨を実現するための条件整備も重要と考えており、その中には、理科教育設備も重要と考えており、その中には、理科教育設備も当然含まれると考えております。引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、日本理科教育振興協会のますますの御発展と、皆様の一層の御活躍を祈念しまして、私からの挨拶といたします。

令和7年5月22日

文部科学大臣 あべ 俊子

令和7年度 第54回定時総会 議事録

1. 日 時：令和7年5月22日（木） 13時30分～15時20分
2. 場 所：東京ガーデンパレス 2階天空（東京都文京区湯島）
3. 出席者：正会員総数 1,034社 出席者数 712社（うち委任状689社）
4. 理事及び監事の出席状況

出席 理 事	13名	大久保 昇、中村 友香、西松 正文、小林 啓介、中井 泉、岩瀬 英人、白石 豊、久保田 善彦、石代 俊則、仁井田 孝春、鈴木 盛一郎、大貫 重良、石崎 裕行
出席 監 事	2名	森川 将成、中田弘明
次期理事就任予定者3名	2名	飯田秀男、上村礼子、藤原憲二

5. 議事の経過及び結果

13時30分、副会長 西松 正文 氏から開会宣言があった後、司会の副会長 中村 友香 氏から定款第17条の規定のとおり会員総数の過半数の出席により本総会が有効に成立している旨の報告があり、続いて定款第15条第1項の規定により、会長 大久保 昇 氏が議長となり、次の報告事項の後、2議案について逐次審議した。

❖報告事項

令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画及び事業予算について大久保 議長が自ら報告を行った。

❖第一号議案 令和6年度 収支決算報告の件

議長の指名により常務理事 石崎 裕行 氏が、配布資料に基づき、令和6年度収支決算報告（①貸借対照表、②正味財産増減計算書、③内訳表、④財務諸表に対する注記、⑤財産目録、⑥附属明細書）について説明し、議長から以上についての意見・質疑を求めたところ全員異議なく拍手をもって、これを可決、承認した。

次いで、監事 森川 将成 氏から定款第38条の規定により監査の結果、正確妥当であった旨の報告があり全員異議なく拍手をもって、これを可決、承認した。

❖第二号議案 役員改選の件

議長より、配布資料に基づき、役員候補の理事14名及び監事候補2名の氏名を一人ずつ発表し、候補者一人ずつ、全員異議なく可決、承認された。また、役員候補の理事・監事全員が自ら役員就任を承諾した。

15時をもって役員改選が締結された。

その後、臨時理事会開催のために、役員全員が中座し、理事会終了後総会場に戻った。

議長から、臨時理事会で決めた役員人事についての報告を行った。

続いて、議長から以上で総会の全議事が終了したことが宣言され、議事録記名者として次の2氏を指名、承認を求めたところ全員異議なくこれを可決、承認した。

中村 友香 氏（株式会社ナリカ 代表取締役社長）

鈴木 盛一郎 氏（株式会社鈴盛商会 代表取締役社長）

以上をもって15時20分に全議事を終了し、副会長 西松 正文氏が閉会を宣言し、全日程を終了した。

第54回定時総会 永年勤続優秀社員表彰

令和7年度第54回永年勤続優秀社員表彰者は、右表のとおり4社9名となりました。
株式会社京都科学 榎 浩稔 様が壇上に上がり、大久保会長より賞状が授与されました。



No.	氏 名	所 属 企 業
1	木下 紗智	ケニス株式会社
2	内海 早貴	ケニス株式会社
3	木村 貴範	株式会社島津理化
4	宮岡 隼人	株式会社島津理化
5	木越 浩平	株式会社島津理化
6	榎 浩稔	株式会社京都科学
7	片山 尚	株式会社京都科学
8	高島 弘樹	株式会社京都科学
9	青木 栄太	株式会社内田洋行

令和7年度

事業計画

全ての児童生徒が自らの体験を通じて主体的な学びが得られるよう、多くの観察実験が行える体制と環境の整備を支援する。

1 全ての児童生徒が観察・実験を着実に実行できるよう、公立、私立を問わず理科教育環境の整備充実をめざす

1-1 理科の実験観察に必要な機器の整備のため、国及び自治体、学校法人の予算が潤沢に措置されるよう働きかけを行うとともに、補助金事業に関する情報を広く周知し、活用を促進する

- 適宜適切な媒体を用いて設置者と学校への正確かつタイムリーな情報伝達を図り、理科教育設備整備事業の普及活動を継続する。
- 理科教育設備整備補助事業予算計上の複数年計画に向けた活動を推進するため、都道府県市区町村に対し次年度予算増額計上まで含めた予算増額活動を実施する。
- 特に理科教育環境整備が進んでいない市区町村対策として、都道府県に協力をいただく協働説明会開催について昨年度以上の実施を目指す。
- 自治体・学校法人が国庫補助申請を適切に行えるよう有効なアドバイスを提供し、円滑な申請手続きの支援活動を強化するため、事業申請・管理台帳作成等の実務セミナーや個別相談会の開催を継続する。



理振・台帳説明会

1-2 新しい基準品目において最重点品目・重点品目とされる観察実験機器の整備充実を図るとともに、使用できない機器の廃棄をすすめる

- 観察実験機器のなかで最重点品目・重点品目を文部科学省が指定していることの周知並びに特に最重点品目の完全整備を図る。
- 新たに追加された機器の充足現状を把握し、整備充実につなぐ活動を推進する。
- 老朽化等から使えない観察実験機器について、文部科学省の廃棄基準についての周知徹底を図り廃棄を促進する。

1-3 理科観察実験に関連するその他の必要な予算措置の働きかけを推進する

- 「観察・実験」で必須となる消耗品予算の確保に向けた啓発活動の展開を推進する。
- 理科実験支援員が十分に配置されるべく拡充に向けて活動する。

1-4 観察・実験の拡大強化を促進するための調査、分析活動の充実

- 学校現場の現状及び課題を調査・分析し、調査結果から得られた学校の現状を広く訴え、理科教育充実につなぐ活動を推進する。
- 調査・分析による学校の現状把握を踏まえ、次の理科基準リストの提案検討に着手する。



2 「理科の授業は理科室で」の実現を目指し、理科室および理科の周辺環境の整備充実をすすめる

2-1 理科教育を支える理科室整備の促進を図る

- 理科室での実験台・収納戸棚・安全施設の充実や理科準備室の整備のため、文教施設全般についての仕組みを把握し、理科教育施設の質的、量的向上を目指す。

2-2 情報端末の普及などの変化に積極的に対応する

- 観察・実験において理解を深めるための良い事例として、情報端末と観察実験機器を連携させたモデルとなる観察実験の事例を抽出し、紹介する。

3 教育用理科機器の充実や品質向上ならびに観察・実験指導の向上と実験における安全な実施を支援する

- 次の学習指導要領の改訂検討開始に伴い、現行の理科設備基準の品目・数量の見直し検討に着手する。
- 観察実験の拡大に向けて、小学校を中心とした観察実験指導力向上セミナーの開催及び支援活動を行う。
- 観察実験授業における不測の事態発生状況調査に基づき、特に注意すべき実験について安全・安心に実験が行えるよう刊行物を作成し配布する。
- 教育用理科機器の品質向上及び安心安全に観察実験が行えることを目的として、諸外国における理科教育環境の調査を進める。

4 理系進路選択の生徒の増加を目指す

- 現状の理系・文系進路選択について、その岐路となる要因の調査を継続して実施し、詳しく現状の把握に努める。
- 女子生徒が将来の進路として科学を目指す理科好きな女子中学生・高校生育成のための活動を検討する。
- STEAM教育の中で理科が中心となった活動を紹介していく。

5 広く社会での理科教育推進の理解が進むような諸活動の推進

- 有識者、国会議員等に理科教育の意義を訴え将来に向けての世論喚起を図る。

6 理科教育の普及啓発に関するその他事業の実施

- 災害被災地区における出前授業を通じ、自然災害と防災に対する関心を高め、科学知識が実践で役に立つ学習を目指した活動を行う。
- 各種理科教育啓発事業への協力および参加。



被災地での理科実験授業

7 関係機関・諸団体との協力活動の推進

- 理科教育を推進する諸団体への活動支援事業の実施。
- 関係機関・諸団体との相互協力の推進。

8 会員・関係者に対する活動の拡大

- ホームページ等による広報活動の充実と会員に対するサービスの拡充。
- 毒物及び劇物取扱責任者資格試験の受験への支援を継続拡大する。

9 公益社団法人として協会の基盤確立を実施

- 会員数・口数の拡充に努め、財務的基盤の確立を進める。
- 公益事業の拡大とそれを支える健全なる会計財務運営を図る。

講演

◆演 題

【「科学」は誰のもの？ ～定時制科学部の挑戦～】

◆講 師

大阪大学大学院理学研究科 元特任研究員 久好 圭治 氏

◆講 演

久好先生の定時制高校【科学部】の躍進は、第172回直木賞作家 伊与原新 氏の小説【宙わたる教室】のモデルとなりました。

2024年秋に、NHKで連続ドラマ化されて10回にわたり【宙わたる教室】が放映されたことは受講者全員が知っていましたので、久好先生が行われて来られた教育の実践について大きな期待をもって聴講いたしました。実践に基づいたお話は実に説得力があり、期待以上のお話をいただき、とても感銘を受けました。

先生のお話の中で、【失敗はないんだ→だって誰もしたことがないことだから】は受講者全員に強烈なインパクトを与えました。

また、定時制高校は、全日制高校に比して、かなり時間と設備の制約と、生徒の年齢層も幅広いものがある中で、生徒たちに真剣に科学取り組んでもらい、うまくいかない実験でもどうして、何故、今度こそは、の精神であきらめずに取り組む姿勢を維持し、結果として、全国レベルの研究力を発揮されるまでに導かれたことがとても印象強く残りました。

久好先生の、科学に取り組まれる熱い姿勢を十分感じ取ることができました。

人の心を動かすほどの情熱を改めて知ることができて、受講者はこれからの活動に大いに参考となりました。



情報交換会のひとこま



来賓のご挨拶

文部科学副大臣 **武部 新**



本日はお招きいただき、ありがとうございます。日本理科教育振興協会の皆様におかれましては、日頃から理科教育の充実に多大な御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

現在、わが国では、政府を挙げて科学技術イノベーションの推進に取り組んでおります。科学技術は社会課題解決や経済成長の原動力であり、次代の科学技術やDXを担う人材の育成の重要性が高まっています。

そのためには、初等中等教育段階からの理科教育を一層充実させ、子供たちの興味・関心を高めるとともに、女子の理系人材育成にも取り組むこと、デジタルを積極的かつ効果的に活用しながら、科学的に探求する力を育成することが重要と考えております。

文部科学省としては、理化教育に必要な設備の整備状況を把握し、設備整備や観察実験アシスタントの配置への支援、先進的な理数系教育を実践するスーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業など、理科教育の充実に向けた施策を実施してまいります。



衆議院議員 **柴山 昌彦**



衆議院議員 **笠 浩史**



衆議院議員 **中村 裕之**



衆議院議員 **田野瀬 太道**



衆議院議員 **美延 映夫**



衆議院議員 **古屋 圭司**



参議院議員 **山谷 えりこ**



参議院議員 **大島 九州男**



参議院議員 **石井 苗子**

総会当日には、衆議院議員 小林史明先生から祝電をいただきました。



全国理科学研究大会

一般社団法人日本理科教育学会 第75回全国大会（富山大会によせて）



一般社団法人 日本理科教育学会
会長 **久保田 善彦**

8月23日（土）～8月24日（日）
富山大学（五福キャンパス）

本年度の全国大会は、昨年度に続き対面の開催となります。実行委員長・片岡弘（富山大学）のもと、8月23日（土）から8月24日（日）の2日間にわたり、理科教育に関する理論的・実践的な研究発表がなされる予定です。記念講演では、富山県立立山カルデラ砂防博物館・学芸課長の飯田肇氏から「立山水河および富山の自然」に関する講演をいただきます。シンポジウムでは、次期学習指導要領への期待等を議論します。更に、ダイバーシティ推進委員会・次世代企画委員会合同企画、「理科の教育」編集委員会ワークショップ、研究推進委員会の成果報告が実施される予定です。また、例年通り、課題研究発表、一般発表が用意されており、全国大会発表論文集（電子版：pdf配信）も引き続き刊行いたします。詳細は、全国大会のホームページ [<https://national.sjst.jp/2025>] をご参照いただければ幸いです。

最後になりましたが、公益社団法人日本理科教育振興協会による本全国大会へのご支援とご協力に対して、会員を代表して深く御礼申し上げます。

令和7年度全国理科教育大会 第96回日本理化学協会総会 岩手大会によせて



日本理化学協会
会長 **上村 礼子**

令和7年度全国理科教育大会・
第96回日本理化学協会総会（岩手大会）
令和7年8月7日（木）～9日（土）

本年度の全国大会は、運営委員長・岩手県立北上翔南高等学校・千葉勝幸校長のもと、8月7日（木）から8月9日（土）の3日間、アイーナ（いわて県民情報交流センター）を会場とし、『「全ての子供たちの可能性を引き出す理科教育」－個別最適な学びと、協働的な学びの充実に向けて－』を大会主題に掲げ、主体的・対話的で深い学びを実現するための魅力ある理科教育の在り方及びよりよい指導方法等を議論し研鑽を深める予定です。

文部科学省講話では、文部科学省初等中等教育局・教科調査官・真井克子氏より「多様で豊かな可能性を開花できる理科教育」の演題でご指導いただきます。記念講演では、国立天文台水沢 VLBI 観測所所長・教授の本間希樹氏から「岩手発 ブラックホール行き 銀河鉄道の旅」をテーマにお話を伺います。また、「全ての子供たちの可能性を引き出す理科教育」をテーマに展開する7つの研究協議分科会、多様な分野の実験事例報告や研究発表、3つのコース別研修等が企画されております。「探究」、「個別最適な学びと、協働的な学びの実現」等に関して全国の理科の先生方の声がまとめられ、研究協議会で調査結果の報告もされます。高等学校における次期学習指導要領の実施に関する情報・知見を含め、理科教育のさらなる充実・発展につながることを期待しております。詳細は、本大会のWebサイト [<https://nirika-taikai.com/iwate2025/>] をご参照いただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会には毎年、公益社団法人日本理科教育振興協会より多大なるご支援とご協力をいただいておりますこと、会員を代表して深く感謝申し上げます。



全国理科学研究大会

第72回全国中学校理科教育研究会 北海道大会の開催について

第72回全国中学校理科教育研究会 北海道大会
第63回北海道中学校理科教育研究会札幌大会
令和7年8月6日（水）～8日（金）



全国中学校理科教育研究会
会長 石代 俊則

公益社団法人日本理科教育振興協会の皆様には、日頃より全中理に多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。今年度、全国理科教育研究会は、北海道札幌市において、大会主題「学びの再構築を通して、自然との共生に向かう理科教育」のもと、全中理北海道大会を上記の日程で開催します。

予測困難なできごとが頻発する変化の激しいVUCA時代は、従来の概念を覆す新しい概念や価値観が登場します。このような時代を生き抜くためには各教科で学んだ知識を融合して考えたり、知識の有用性を具体的に検証したりして新たな課題を解決していく力が求められています。理科教育においても探究活動を通して仮説を立てたり、検証方法を考えたり、結果を考察し、多面的、総合的に自然の事物現象を捉えていくことにより、今後の社会を創造する力、すなわち科学技術立国日本の復活、発展の一助になっていくと考えています。今年度の北海道大会を通じて、全国の理科の教員がつながるとともに、優れた授業実践が共有され、協議によってさらに深まり、日々の授業の改善になることを強く期待しています。

「自然の事物・現象をより深く理解する子どもの育成」 全国小学校理科研究協議会研究大会愛知大会の開催

第58回全国小学校理科研究協議会研究大会
愛知大会
令和7年11月20日（木）・21日（金）



全国小学校理科研究協議会
会長 飯田 秀男

全国小学校理科研究協議会は、大会主題を「グローバル社会を生き抜く 心豊かな人間を育てる理科教育」のもと、愛知大会の研究主題を「問題解決の道筋を構想し、自然の事物・現象をより深く理解する子どもの育成」と設定し、上の日程で開催されます。2日目には、名古屋市の3つの小学校を会場として、第3学年以上の全学年で公開授業を実施します。さらに、各会場では、学年別分科会が行われ、当日の授業についての協議とともに、各都道府県の研究授業実践の発表があり、研究実践の情報交換も行われます。

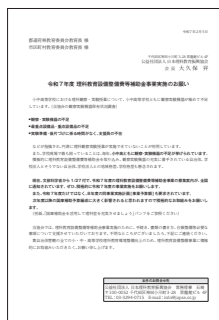
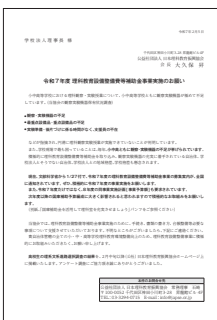
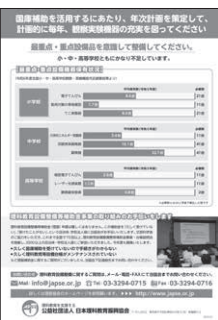
愛知大会では、「理科を学ぶ幸福感を味わう、主体的で子ども中心の学びを通して」を副主題として授業改善に取り組み、授業を通して、子どもたちに求められる資質・能力の育成を図っています。ICTの活用や問題解決の過程を3つの場面に整理した実践など、「子どもの主体的な学び」について、共に考える良い機会になると考えております。愛知大会での情報共有を通じ、全国の小学校理科の研究者がつながり、各地の授業改善に寄与できることを期待しています。

令和7年度 理科教育設備整備費等補助金進捗状況

1 令和7年度理振事業への対応

文部科学省より令和7年度理振事業の募集案内が1月27日付けで通知されました。

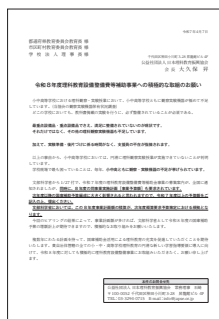
理振協会では、全国都道府県市区町村、学校法人に対して理振事業参画促進のパンフレット及び案内DMをいたしました。



2 令和8年度理振事業への対応

文部科学省は、令和7年度事業募集に合わせて、令和8年度の事業計画も、交付申請締め切りまでに提出する様に指示されています。

これは、8月の文部科学省令和8年度概算予算要求において、理科教育設備整備費等補助金予算立案の基礎となる数字となりますので、大変重要な意味を持ちます。できるだけ多くの希望が集まるように、理振協会では全国市区町村・私立学校に、令和8年度事業への取り組み促進パンフレットを4月1日付で発送いたしました。



3 交付決定

本年度の理科教育設備整備費等補助金の交付決定は、6月16日に通知されました。

今回の交付決定額において、当初予算はほぼ全額消化されるものと見込みますので、追加募集はないものと思われます。

※当初予算 17.16億円 6/16 令和7年度交付決定額 17.12億円

令和7年度 復興教育支援事業計画

事業実施以来、14年目となります。本年は、石川県能登半島大地震被災地区、東日本大震災地域・第一原発避難地区にて、実施させていただきます。

実施地区・・・石川県：珠洲市、輪島市、七尾市、能登町、穴水町／福島県：双葉町、浪江町、南相馬市
 実施時期・・・令和7年9月～12月度
 実施授業・・・教科書掲載の観察実験授業を実施
 スケジュール・・・5月～6月：実施地区から募集、7月～8月：実施校と授業内容・日時の打ち合わせ、9月～12月：実施

平成23年から実施して、今までに 小学校246校 774時間 15,738名の児童たちと一緒に観察・実験授業をいたしました。

令和7年度 理科教育設備整備費等補助事業・台帳作成説明会 実施報告

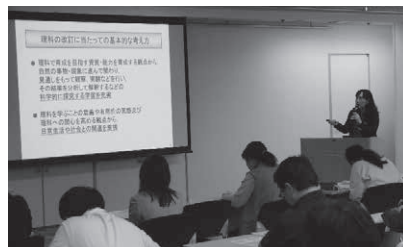
実施日	場所	講師	参加者
5月30日(金)	東京 連合会館	文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹氏	学校法人：25校 27名 教育委員会：16名 計43名
6月3日(火)	大阪 OMMビル	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 真井 克子氏	学校法人：15名 教育委員会：12名 計27名
6月5日(木)	福岡 アクア福岡	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小林 一人氏	学校法人：10校 13名 教育委員会：3名 計16名

説明会は、平成28年から本年までのべ79会場で実施いたしました。

これまで累計で、学校法人 1,398校、都道府県市区町村自治体 714自治体、累計参加者 3,102名が受講されました。



東京会場 藤枝 秀樹 視学官



名古屋会場 真井 克子 教科調査官



福岡会場 小林 一人 教科調査官

安心安全ドキュメント

1 令和6年度事業として下記5点をホームページにアップいたしました。ダウンロードしてご利用ください。

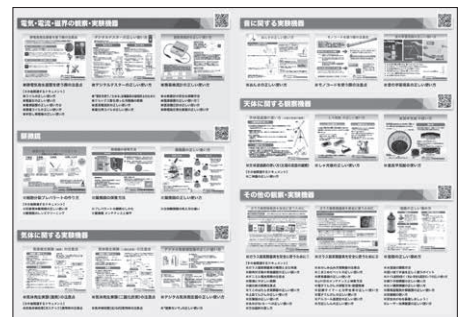
- ・ガラス器具の事前チェック ・やけどの危険性マップ
- ・力学的エネルギー実験機(杭打器)の正しい使い方 ・金属膨張試験機の正しい使い方
- ・超音波洗浄器使用上の注意点

<https://www.japse.or.jp/publication/document/>

2 安心安全ドキュメント活用パンフレットを発行しました。

これまで作成した全87種を掲載したパンフレットです。

QRコード付 スマホでも見れます



理科観察実験指導力向上セミナー実施

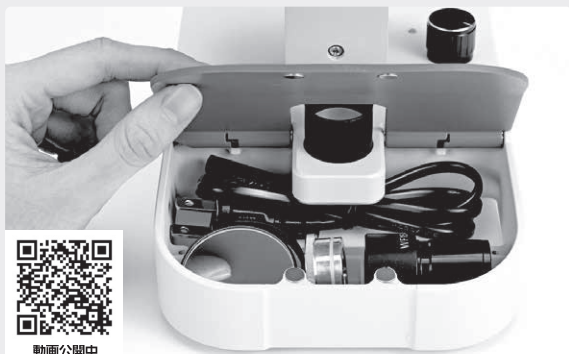
本年も、右記3会場にて実施いたします。

第13回	国立天文台	7月29日(火)
第13回	葛飾区科学教育センター【未来わくわく館】	8月18日(月)
第3回	愛知教育大学(中学校教諭対象)	8月21日(木)
第13回	愛知教育大学(小学校教諭対象)	8月22日(金)



準備・観察・収納 全てがスマートに！ 生物顕微鏡YMOシリーズが新登場！

付属品が全て収まる収納ポケットを搭載！



動画公開中

簡単ピントライン

緑色のラインを合わせるとおおよそのピントが合います

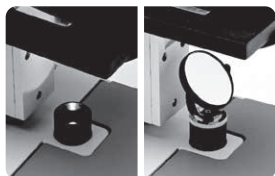
色分け矢印表記

本体と調節ハンドルには赤色と青色の矢印がプリントされており、調節ハンドルの回す方向とステージの上下動の関係がわかりやすくなっています

大型調節ハンドル

一つの調節ハンドルのみでステージの細かい微調整ができます

充電式LED光源



無段階の明るさ調整が可能。
また、付属の反射鏡を差し込むだけで反射鏡を使った観察に簡単に切り替えられます

サービスコンセント



複数の顕微鏡をまとめて充電でき、充電しながら観察も可能です



NEW

生物顕微鏡YMOシリーズ

商品コード	6404700	6404800
型 式	YMO-400	YMO-600
価 格 (税込価格)	¥47,000 (¥51,700)	¥52,000 (¥57,200)
総 合 倍 率	40～400×	40～600×
接眼レンズ	EWF10× (大口径広視野 視野数18)	EWF10× (大口径広視野 視野数18)、WF15× (視野数13)
対物レンズ	4×、10×、S40×、DIN規格	
照 明 装 置	充電式LED光源、調光可、交換用反射鏡(平面・凹面)付	
ス テ ー ジ	クレンメル(プッシュクリップ構造)、回転式絞リ(5穴)、コンデンサレンズ付	
焦 準 装 置	ステージ上下動式、ハンドル(φ47mm)、ステージ上下矢印マーク付(調節ハンドル・本体)、簡単ピントライン付	
その他の機能	収納ポケット、サービスコンセント付	
大きさ、重さ	135(W)×200(D)×360(H)mm、約2.5kg	

For the next ?



株式会社 ヤガミ

本 社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目2番29号
TEL(052)951-9251 FAX(052)951-6454

東京支店 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1丁目9番1号
TEL(03)3915-2221 FAX(03)3917-2221

大阪支店 〒547-0035 大阪市平野区西脇3丁目3番2号
TEL(06)6702-9991 FAX(06)6702-9522

福岡営業所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目5番7号
TEL(092)471-1477 FAX(092)471-0237

www.yagami-inc.co.jp